

東館南集会所

〒329-0611

上三川町大字上三川1223-1

☎ 56 8506

1月の開放事業

今月の開放事業は「うどん打ち」です。こしが強く風味豊かなうどんを打ってみましょう。初めての方でも大丈夫です。自分で打った「手作りうどん」は格別です。お友だちや近所の方などと誘い合ってお気軽にご参加ください。

▼日時＝1月23日(日)午前10時～

▼講師＝鈴木芳次さん

▼場所＝東館南集会所

▼材料費＝300円

▼持ち物＝エプロン・三角巾などをご用意ください。

▼定員＝6名(先着順・町内居住もしくは勤務の方)

▼申込期間＝1月6日(木)～14日(金)



▶問い合わせ先＝生涯学習課 生涯学習係 ☎ 56 9159

現代の人権 企業と人権

企業とは「製品やサービスを提供することで利益、利潤を得ることを目的に活動する組織」というのが過去の常識でした。しかし、企業も社会を構成する一員として、環境や人権に配慮した行動を行うべきであるとする考え方が一般化してきました。「企業の社会的責任」(Corporate Social Responsibility＝CSR)という言葉もよく聞くようになりました。

例えば、消費者に対して安全で環境への影響が少ない商品を提供すること。すべての消費者や取引相手に対し、平等に接し、公正な取引をすること。法令を遵守すること。さらには顧客の住所氏名等の情報を保護し、プライバシーを守ることなどが求められます。

○児童労働・森林破壊

ポテトチップ、チョコレートなどの食品や洗剤などに使われる油脂の原料としてパーム油があります。パーム油は日本国内での使用量の全量を輸入に頼っていますが、発展途上国の零細な生産農園では児童労働や森林破壊などの疑いが指摘されています。このように原料の供給網(サプライチェーン)の中に人権や環境面での問題が発覚した場合、供給側(サプライヤー)だけでなく、最終的にそれを原材料として使って利益を上げた企業も責任を問われることになります。企業にとっては、自社が調達する原材料がどこでどのように生産され、どんなルートで納入されたのかを明白にするためのトレーサビリティ(経歴を追跡できること)が重要になっています。

○フェア・トレード

フェア・トレードとは、生産者が貧困から抜け出し、人間らしく暮らすことができるよう支援するため、生産したものを正当な値段で売り買いすることです。例えば、Tシャツの原料であるコットンは栽培、収穫、製糸、織り、染色、縫製など多くの工程を経て製品化されます。その裏には安い賃金で働き、貧困に苦しむ途上国の生産者や労働者がいます。適正な価格での商取引がなされれば、貧困や児童労働を減らすことができます。

○企業の持続的発展のために

近江商人の家訓として「三方(売り手・買い手・世間の三者)よし」という言葉があります。企業の持続的発展のために経験的に会得され、実践された心得です。日本の商工業の底流にはCSRに通じる考え方があったのでしょう。そしてそれは現在も脈づいています。

▶問い合わせ先＝生涯学習課 生涯学習係 ☎ 56 9159

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、施設の臨時休館又は、イベントを中止することがありますのでご理解願います。